

情報えひめ（財団からのお知らせ）【124号】

— 今回の目次 —

◎ イベント・募集情報等

[1] 【助成事業】 募集について（お知らせ）

[2] 「中小企業診断士養成課程」の募集説明会について

※ ちょっと「一服」、⑥ ～話の彩りに～

— [イベント・募集情報] —

◆ [1] 【助成事業】 募集について（お知らせ）

えひめ産業振興財団では、以下の①～②の助成事業を実施しています。

① 【ビジネスデザイン助成事業】

デザイナー等との協働によって行う、コンセプトの明確化によって商品の魅力を高めるパッケージデザイン、機能性に加えてデザイン性に配慮した商品開発、ブランドの確立などの取組みに対し、その必要な経費の一部を助成する「ビジネスデザイン助成事業」を実施します。

● 助成対象事業

助成対象者が自ら製造、販売することを目的として、新たにデザイナー等と協働して行う、デザインを活用した商品開発（改良を含む）、デザイン企画開発（商品に係るブランド構築及びPRツールの開発をいう）、ビジネスデザインの確立（コーポレートアイデンティティ等をいう）及び、これらに必要な調査に取り組む事業が対象です。

● 助成期間、助成率及び助成限度額

- ・1年以内
- ・助成対象経費の1/2以内
- ・上限：1,500千円
- ・事業内容、規模等により助成額を減額する場合があります。

● 関連URL

<http://www.ehime-iinet.or.jp/zaidan/fund2/design/bosyu.pdf>

● 募集期間

平成30年2月8日（木）～平成30年3月16日（金）

※郵送による場合は、平成30年3月16日（金）17時までに必着のこと。【厳守】

② 【中小企業海外展開フォローアップ助成事業】

県・県内市町や県内経済団体等が実施した海外経済交流ミッション等でのビジネス商談会のフォローアップ商談の実施や現地市場等調査に係る必要経費を助成する「中小企業海外展開フォローアップ助成事業」を実施します。

● 助成対象事業

県・県内市町や県内経済団体等が実施した海外経済交流ミッション等に参画し、今後、自社で独自にビジネス商談会のフォローアップ商談及び、現地市場等調査を行う事業が対象です。

※対象国および地域は原則、台湾、インドネシア、ベトナム、タイ、ミャンマー等

● 助成期間、助成率及び助成限度額

- ・1年以内
- ・助成対象経費の1/2以内
- ・上限：300千円
- ・事業内容、規模等により助成額を減額する場合があります。

●関連URL

<http://www.ehime-iinet.or.jp/zaidan/fund2/follow/bosyu.pdf>

●募集期間

平成30年2月8日(木)～平成30年3月16日(金)

※郵送による場合は、平成30年3月16日(金)17時までに必着のこと。【厳守】

①及び②に関する問い合わせ先

(公財)えひめ産業振興財団 産業振興部 産業振興課

担当：中矢、藤田、白形、阿部 TEL 089-960-1201

◆ [2]「中小企業診断士養成課程」の募集説明会について

「中小企業診断士養成課程」の第6回募集説明会を開催します！

中小企業大学校東京校の「中小企業診断士養成課程」は、中小企業診断士第一次試験を合格した方を対象に、実際の企業事例に基づく実践的な「演習」と実際の企業を診断する「実習」を通じて、現場感覚に根差した「実務能力」・「人間力」の高い中小企業診断士を養成する6ヶ月間のコースです。

今般、中小企業診断士養成課程の第6回募集説明会を開催いたします。
中小企業支援のエキスパートとして、中小企業支援施策と中小企業との橋渡し役を担いたいという社会的・公共的使命感に溢れる方のご参加をお待ちしています。

【対象者】

- ・中小企業診断士試験 1次試験の受験者および合格者の方
- ・金融機関および支援機関等の派遣担当者の方

【開催日時】

平成30年3月10日(土曜) 14:00～16:00(予定)

【開催場所】

中小企業大学校東京校(東京都東大和市桜が丘2-137-5)

【内容】

カリキュラム説明、校内見学、修了生の受講体験談と診断士活動報告、質疑応答など

【定員】20名 ※先着順

【費用】無料

【申込み方法】

東京校ホームページより、3月8日(木曜)17:30までにお申し込みください。

<http://www.smrj.go.jp/institute/tokyo/training/supporter/smeconsultant/seminer/>

【お問い合わせ先】

中小企業大学校東京校 支援研修課 募集説明会係

東京都東大和市桜が丘2-137-5 電話 042-565-1170

◆ ※ ちょっと「一服」、⑥ ～話の彩りに～

☆☆

ローマの滅びたるは中堅なくして貧富の懸隔甚(はなは)だしかりしが故(ゆえ)なり。
露帝国も然(しか)り。

【秋山好古(よしふる)の言葉】

秋山好古(1859~1930年)は幕末に松山藩の下級武士の家に生まれた。その弟真之(さねゆき)は正岡子規と同年の生まれで、司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』の主人公として弟ともども描かれている。

好古は、日本陸軍騎兵の父といわれる。日露戦争の際に騎兵と機関銃を結合した用兵を考え、当時世界一と恐れられたロシア軍コサック騎兵団の猛攻をしのぎ、日本の勝利に貢献した。

この言葉は、晩年、故郷松山の中学校長となり、保護者に語った校長訓示の一節。「中学教育(現在の高校教育に相当)は国の中堅人物を養成するもの」で、人材育成に焦点をあて日本の発展に貢献したいという思いがあったといわれている。

貧富の格差拡大が問われているこんにちにも色あせることなく通じる視点といえる。
企業経営においても、「もの言える」中堅層の厚みがあってこそ企業の成長にもつなげられるのではないか。とくに、昨今のタカタや東芝、日産自動車、神戸製鋼所などのふがない状況をみていると、その思いが深くなってしまうのは私の思い込みが過ぎるでしょうか。

（（公財）えひめ産業振興財団専務理事 渡瀬賢治）

☆☆

財団専務理事の渡瀬です。私の愛読書『街道をゆく』（司馬遼太郎）を中心にした話を綴らせてもらいます。皆様方の話の彩りの一つになれば幸いです。

最後までご覧いただきありがとうございます。
このメールマガジンは、財団職員と名刺交換させていただいた方や
「情報えひめ」を配信希望された方に毎月1回、配信させていただいております。

[配信登録・解除ご希望の方はこちら↓]
zaidanmm@ehime-iinet.or.jp までメールでお知らせください。

「
発行責任者：
公益財団法人えひめ産業振興財団 総務課
松山市久米窪田町337番地1
Tel：089-960-1100 Fax：089-960-1105
<http://www.ehime-iinet.or.jp/>
」